〇水生生物モニタリング調査結果一覧(真野川D)

< 直野川D 水質底質採取項目>

<具野川D	小真匹真休取生	(H >										
項	目 一般分	分析項目	放射性物質分析項目									
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)						
D - 1	0	0	0	0	0	0						
D - 2	0	0	0	_	0	_						
D-3	0	0	0	-	0	-						
D - 4 a	0	0	0	-	0	-						
D-4 b	0	-	0	-	_	-						
D - 5	0	0	0	-	0	-						

<真野川D 現場測定項目>

	SHAPE DAWNIC ARE														
項目	調査緯度	度・経度		調査日時		水質		底	その他						
調査地点	緯度	経度	H	時刻(水)	時刻(泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)			
D-1	37. 7332°	140. 9253°		9:46	9:55	14.3	14.8	砂	2.5Y4/2	なし	0.46	>50.0			
D - 2	37. 7095°	140. 9566°		10:46	10:52	14.9	15. 1	砂	2.5Y4/3	なし	0.60	>50.0			
D-3	37. 7051°	140. 9622°	H26, 10, 23	12:32	12:38	16.0	15.4	砂	2.5Y4/4	なし	0.52	>50.0			
D-4 a	37. 7309°	140. 9081°	H20. 10. 23	8:36	8:42	13.9	13.5	泥混砂	2.5Y4/4	小石	0.41	>50.0			
D-4 b	37. 7312°	140. 9095°		9:16	_	13.6	_	_	_	_	0.38	>50.0			
D - 5	37.7217°	140. 8898°		7:53	7:57	13.5	13.5	砂	2.5Y3/3	なし	0.68	>50.0			

< 真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

\ ><>1/1/1D	バスノリ・ハース ロ	カスオコ エーマク 列 スフ・レコ															
項目	調査緯	度・経度	調査日時		pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90	
調査地点	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	
D - 1	37. 7332°	140. 9253°		9:46	7.4	<0.5	2.6	10.8	9. 9	0.06	1. 2	2	1.2	0.017	0.045	0.0012	
D-2	37.7095°	140. 9566°		10:46	7.3	< 0.5	3. 3	10.4	11. 3	0.06	1.6	3	1.9	0.014	0.044	_	
D-3	37.7051°	140. 9622°	H26. 10. 23	H26. 10. 23	12:32	7.2	<0.5	2.8	10.0	11. 3	0.06	1.4	2	1.7	0.013	0.038	1
D-4 a	37.7309°	140. 9081°			8:36	7.5	<0.5	2.6	10.0	9.8	0.05	1. 2	1	1.0	0.017	0.052	1
D - 4 b	37.7312°	140. 9095°		9:16	7.5	<0.5	2.6	9.9	9. 6	0.05	1.1	2	0.9	0.022	0.061	1	
D - 5	37.7217°	140. 8898°		7:53	7.6	<0.5	2. 5	10. 3	8.8	0.05	1.2	<1	0.6	0.016	0.047	1	

< 直野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

<具野川D	一 版 分 析 項 日 ・	双射性物質分析	'項日																		
TE F	項目 調査緯度・経度 調査日時						粒度組成														
/共:	1	及"莊/及	political in the control of the cont	H MA	pH	酸化還元電位	含水率	IL	TOC	土粒子の密度	礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	中央粒径	最大粒径	Cs-134	Cs-137	Sr-90
	éta pár	XX PF	日時刻			E _{N. H. E}					$(2 \sim 75 \text{mm})$	(0.85∼2mm)	(0.25~0.85mm)	(0.075~0.25mm) (0	0.005~0.075mm)	(0.005mm未満)					
調査地点	种及	和王/支	н	时刻		(mV)	(%)	(%)	(mg/g-dry)	(g/cm^3)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(mm)	(mm)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)
D - 1	37. 7332°	140. 9253°		9:55	7.2	266	18. 4	1. 7	2. 1	2. 699	31.7	42. 1	17. 9	6. 6	0.8	0.9	1.4	19	300	910	1.1
D-2	37. 7095°	140. 9566°		10:52	7.2	272	17.8	1.3	1.6	2.708	20.0	36.0	39. 0	3. 6	0.8	0.6	0.96	4. 75	170	560	-
D-3	37. 7051°	140. 9622°	H26. 10. 23	12:38	7.2	280	22.6	1.6	1.8	2. 703	4. 9	15. 3	60.9	16. 0	1.4	1.5	0.43	4. 75	43	170	-
D - 4 a	37.7309°	140. 9081°	1	8:42	7.2	287	19.6	1.8	2. 2	2.744	15. 5	31. 3	44. 3	7. 0	1.0	0.9	0.80	4. 75	400	1, 200	_
D - 5	37.7217°	140. 8898°		7:57	7.3	234	19. 5	1.8	1. 9	2.694	25. 2	60.0	13. 2	0.8	0.4	0.4	1.4	9. 5	150	420	-

注)N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 分析項目 水生生物>

地点 採取場所 調	調査緯度	調査緯度・経度		BB	綱	В	科	種名	和夕	個体数	採取重量	特記事項			Cs-134	Cs-137	Sr-90						
地尽	a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	経度	採取日	1"3	794	н	4-1	怪石	TH-fa	旧印华级	(kg-wet)	成長段階	胃内容物	測定部位	(Bq/kg-wet)	(Bq/kg-wet)	(Bq/kg-wet						
										藻類・植物	_	_	-	_	河床付着物(藻類を含む)	相当数	0.063	-	1	_	26	77	_
					節足動物	昆虫	トンま	サナエトンホ"	Sieboldius albardae	コオニヤンマ	41	0.029	幼虫(ヤゴ)	1	_	6.0	20	_					
					節足動物	昆虫	^ピトンポ	^t*	Protohermes grandis	ヘビトンボ	44	0.030	幼虫	1	_	9. 5	22	_					
				節足動物	軟甲	十脚	アメリカサ゛リカ゛ニ	Procambarus clarkii	アメリカザリガニ	3	0.036	成体	1	_	21	68	_						
D-4a		37, 7309°	140. 9081° 140. 9095°	H26, 10, 26	節足動物	軟甲	十脚	ヌマエじ *	Paratya improvisa	ヌカエビ	350	0.063	成体	1	_	22	61	_					
D-4a D-4b	-	37. 7309 37. 7312°			軟体動物	腹足	吸腔	カワニナ	Semisulcospira libertina	カワニナ	58	0.097	成体	1	軟体部	28	76	_					
D 40		31. 1312			脊椎動物	硬骨魚	그 (21	Tribolodon hakonensis	ウグイ	5	0.051	成魚(2歳)	内容物多いが不明	内臓除去	17	49	_					
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	Oncorhynchus masou	ヤマメ	1	0.060	成魚(1歳)	昆虫類(多い)	内臓除去	15	46	_					
					脊椎動物	硬骨魚	スズ゛キ	サンフィッシュ	Micropterus dolomieu	コクチバス	2	0.032	未成魚	内容物あるが不明	内臓除去	21	70	_					
		1		脊椎動物	硬骨魚	スズ゛キ	nt"	Rhinogobius sp.	シマヨシノボリ	19	0.060	成魚	1	_	32	94	_						
					粗粒状有機物	_	_	_	-	水底落葉等	相当数	0.26	_	水生昆虫	_	27	89	_					

※1:生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2:水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3:複数種の混合試料においては、最も多く接取できた優占種を、和名に下線で示した。 ※4:生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓 (胃、腸) の除去が可能な試料については、 除去して測定した。

※5:成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢査定の結果を示す。

※6:プランクトン (浮遊藻類) とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※7:河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※8:N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※9:放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。